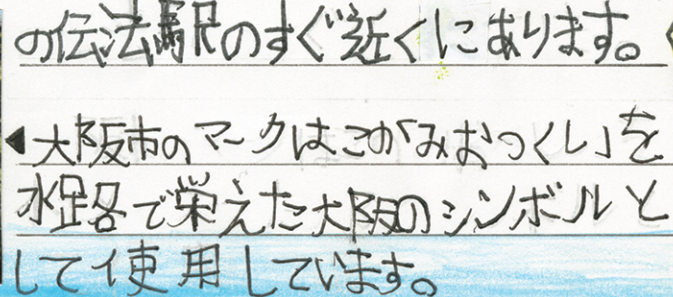


女流歌人の
伊勢の家が
あった所に
建てられた寺。



歌が言えま
れた時は
海が近かっ
たので哥欠碑
にハマグリが
あしらわれてい

一度に行くなら南海線泉
の浜寺公園駅と阪界線泉
の浜寺駅前駅でのり
かうよ。

昔の海岸系泉は
もっと内側にあつた。
どんどん埋め立てられ
歌久が詠まれた時より
今は海がとおい。

あすか時代からかまくら時代
に詠まれた歌を百首あつめた
もの。歌に詠まれた土名を
歌木宛という。大阪には5つの
歌木宛がある。そのうち3つ
は電車で行くことができるよ!

88	72	20	19	18	歌者
なにわえのあしのかりあのみとよゆるみ みをのくしてはあはひわたるべき	かにじや袖のぬれもこそすれ 意に聞く高師浜のまだ波は	おひぬれば今はた同じなになる みをつくしてもまあんとぞ思ふ	なにわがた短きあしあふしの間も ああでこの世をすぐしてよとわ	住の江のきこによる波よるさへや ゆめの通ひ人目よくらむ	※赤字が歌枕
別当	ゆうし 内親王家 紀伊	元良親王	伊勢	ふじわらの とゆきあそん	歌人

A woman wearing a pink t-shirt, a white bucket hat, and a white crossbody bag is posing next to a large, weathered stone monument. The monument is covered in vertical Japanese text. She is making a peace sign with her right hand. The scene is outdoors, under a wooden structure with a thatched roof, with trees in the background.

みることにした。
電車にのって始めて
行く場所で歌碑を探
すのは宝探しのようで
たのしかった。見づかれ
ないものもあったが、大阪
以外にある歌枕にも行
つてみたいと思つた。もち
ろ人、電車で!!

一年生の三学期にクラスで百人一首をやつてからうんうん百人一首をおぼえようと思つた。歌をおぼえるのは得意だ。なぜなら歌をおぼえるのは電車のアナウンスをおぼえるのと同じから。意味がわからなくてもくりかえし聞くことで頭に入ってくる。意味がわからないことだらけの歌だが、住の江や高師浜など南海線に聞いたことのある駅名が出てくるのでまずは行って